



コ・ノ・ホ・シ 新ブランド米 誕生。



組合員限定の広報誌「Farming」では、JA兵庫南の話題を毎月発信。農産物や生産者さんのことを、もっと知ることができる元気生活応援マガジンです。



開発期間を 14年→9年に

一般的にお米の開発には14年の期間が必要だと言われています。しかし、「キヌヒカリ」に代わる暑さに強い品種の開発は、緊急の課題でした。そこでプロジェクトでは工程を見直し、開発期間を9年に短縮する計画を立てました。

兵庫県立農林水産技術
総合センターの奮闘

ガラス温室を改造

高温に強く、おいしいお米を開発するためには、高温環境下での検証が欠かせません。温度センサーの仕組みや温室の構造について試行錯誤を重ね、ガラス温室を改造。室内の温度と連動して暖房がついたり窓が閉まったりするなど、炎天下を自動で生み出す高温耐性検定用ガラス温室を完成させました。



「温暖化が進む兵庫県でも育てられる、高温に強くおいしいお米を！」そんな願いから、2016年、兵庫県とJAグループ兵庫は新品種の共同開発プロジェクトをスタートしました。幾つもの試練を乗り越え、新ブランド米「コ・ノ・ホ・シ」がついに誕生！2025年のデビューに向け、県内各地で栽培が始まっています。

※ふあ～みんSHOP各店では
2026年からの販売を予定しています。



相思相米な日々。
日々、少しずつ動いている
プロジェクトの「今」を
Instagramで発信中！



コ・ノ・ホ・シ

＼ 現地試験を行った農家さんより /



新ブランド米は兵庫県で生まれた品種です。試験では、止葉（最後に作られる、茎の一番上につく葉）がかなり長く、影になるので日焼けがしづらいように思いました。また、穂が隠れるので鳥害を防げたようです。この辺りでお米を作っているのは、ほとんどが兼業農家。手間を多く掛けられないのが現状です。暑さに強く、病気になりにくくて、おいしいお米は農家も待ち望んでいました。

開発の歩み



食味試験
スタート

現地試験
スタート

交配

プロジェクト
始動！

固定期間

（集団養成 2作/年）

交配の次は、「固定」という作業があります。めしべに自分の花粉を受粉させる自家受粉を何度も繰り返し、親の特長を子どもに定着させます。お米の品質を安定させるために、5回も栽培し固定を行いました。

高温耐性検定
方法を確立

選抜

数多くの品種を交配させ、10,000種類が誕生！この中から、暑さに強く、よりおいしい品種を選ぶ工程が「選抜」です。穂が出るタイミングや稲の大きさ・形、病気への耐性など、一つひとつを検査して厳選していきました。

選抜（食味試験を含む）

生産力検定（ほ場試験）

現地試験・種子増殖

JA兵庫南管内や県内12箇所に現地圃場を設置。環境創造型農業を見据えて、試験肥料を統一し、栽培しました。

品種登録出願

一般栽培
開始

10,000系統

500系統

70系統

5系統

3系統

2系統